

「いま、美術館にいるんだけど」

2026年、アクリル、カンバス
91・0㌢×72・8㌢

唐澤龍彦

大川美術館の企画展「いま、美術館にいるんだけど―唐澤龍彦のコミックと大川美術館」のための新作。犬おじさんが携帯電話を耳に当て、「いま、美術館にいるんだけど」と話しているようです。「オモシロかったよ！」「これから帰るからね」と言っているのか、次の言葉が気になるところです。

こうしたちょっとした場面をとらえるセンスは、唐澤龍彦さんの持ち味です。しかし、その背景には、若いころから影響を受けたという欧米のコミックがあります。

日本のストーリーマンガとは異なったコミックの歴史が、欧米にあります。生活ばかりでなく、政治、社会への批判、風刺は19世紀から新聞、雑誌に登場しています。唐澤さんの作品の、温かいユーモアとクールなウイットの源は、このあたりにあるのかもしれません。（田中）

◇

※展覧会は13日までです。

大川美術館企画展
「いま、美術館にいるんだけど
―唐澤龍彦の〝コミック〟と大川美術館」から

《名画の扉》